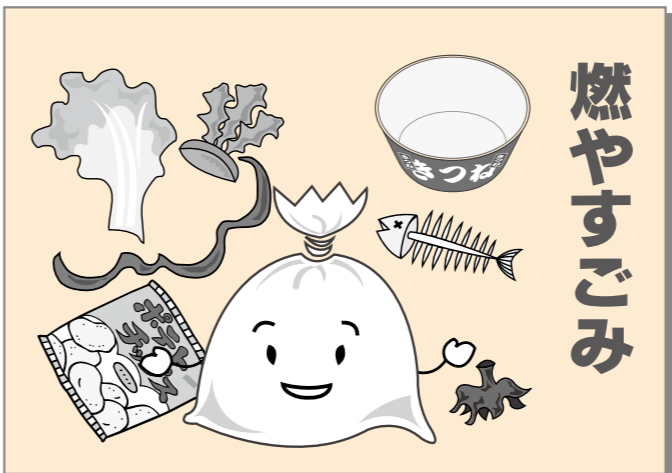


守ってまますか？ ごみのルール

可燃物・不燃物編

今月号では、「燃やすごみ・燃やさないごみ」のルールについて点検してみましょう。詳しくは『家庭ごみの分け方・出し方』のポスター（イラスト入り）を参考にしてください。



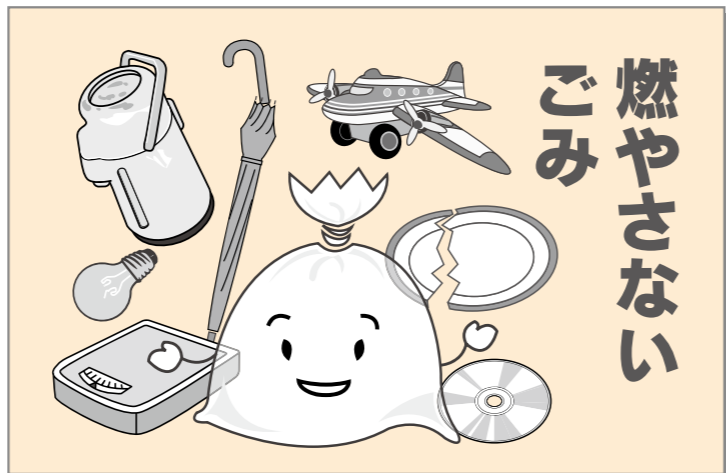
燃やすごみ

出せるもの 生ごみ、紙くず、靴・皮製品、おむつ、木くず、軟質プラスチック類など

出せないもの 紙、布、ペットボトル、白色トレイ、プラスチックは分別して、資源物に出してください。（汚れがひどいものは、リサイクルできませんので「燃やすごみ」にお出しく下さい）

出し方 ①白地に赤色の指定袋に入れて、決められた日にお出しく下さい。指定袋に入っていないものは収集しません。

注意点 生ごみは、十分に水を切ってから出してください。②ふとんは必ず70cm×70cm以内で十文字にしばって、そのまま出してください。



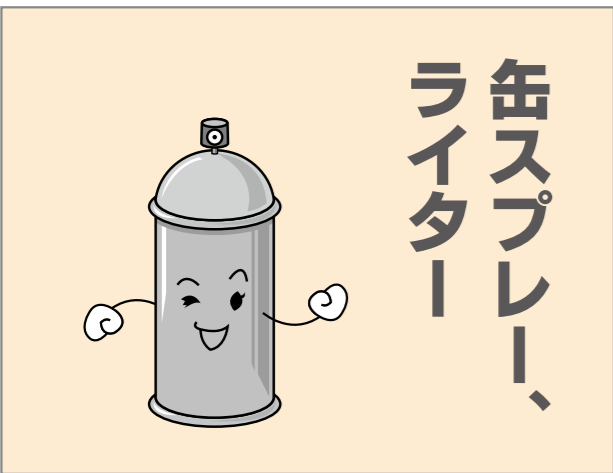
燃やさないごみ

出せるもの 金属類、ガラス類、陶器類、小型家電製品（扇風機、電子レンジなど）、硬質プラスチック類、資源物に出せない缶・びん、傘、蛍光灯、照明器具、おもちゃ、台所用品、植木鉢・プランター など

出せないもの ガスレンジは「燃やさないごみ」には該当しませんので、粗大ごみとして処理してください。

出し方 ①缶・びんはできるだけ分別して、資源物に出してください。さび・汚れがひどいものはリサイクルできませんので「燃やさないごみ」にお出しく下さい。②透明に青色の指定袋に入っていないものは収集しません。

注意点 ガラスや陶器など、割れたりして危険なものは袋を二重にしたり、「ワレモノ」などの表示をして、安全な処置をして危険のないように出してください。



缶スプレー、ライター

出せるもの 使用済みのスプレー缶（殺虫剤、消臭剤、整髪料、塗料、ガスボンベ）ライターなど

出し方 ①中身が見える透明なレジ袋・ビニール袋に入れて、燃えないごみの収集日に出してください。

注意点 爆発や火災事故の危険がありますので、必ず使い切って穴をあけてください。

来月は「家電4品目、補助制度編」をお届けします。

1人1日100gのごみ減量を！

にんじん 1/2で	100g	うどん玉で	180g
ご飯一膳で	140g	新聞紙 1日分で	140g

その他

家庭ごみを焼いてもいいの？
野外焼却（野焼き）は法律で禁止されています。庭先のたき火等の場合でも、周辺の生活環境への配慮が必要であり、煙や臭いの発生はご近所の迷惑になりますので、少量でも燃やせずに「燃やすごみ」に出してください。

プラスチックの分別に迷っています。
プラスチック製品でも材質が適合しないために資源物の「プラスチック」に該当しない物があります。資源物に該当しないプラスチックの分別の目安としては、手で簡単に変形できない硬質プラスチック（おもちゃ、プラスチックケース、ハンガーなど）は「燃やさないごみ」に、軟らかく簡単に変形できる軟質プラスチック（食品パック、食品カップ、チューブ容器など）は「燃やすごみ」に出してください。

飲食用以外のペットボトルの出し方は？
資源物の「ペットボトル」に該当するのは、飲み物や食べ物（ペットボトル）の識別マークが入っているものだけです。洗剤・シャンプー・化粧品など飲食用以外のペットボトルは対象外ですので、「燃やすごみ」に出してください。

引っ越しや大掃除で大量のごみが出るのですが？
一時多量ごみの収集は、市では行いません。処理方法としては、ごみ収集連搬許可業者に収集を依頼する方法と自分で清掃センターに運ぶ方法があります（いずれも有料）。清掃センターに自己搬入する場合には、あらかじめセンターに電話連絡してから搬入してください。

搬入ルールは、①ごみは種類ごとに分別すること。（降ろす場所が違います）②搬入可能曜日は月曜から金曜日（祝日を除く）、時間帯は9時から16時まで（昼の1時間はお休み）③料金は1キ口につき10円として全量有料。④処理できないごみはお持ち帰り頂きます。

ごみの出し方 よくある質問

燃やすごみ

ガラスの蓋が困っているんだけど？

集積場に出す場合は、ごみ袋にネットをかぶせたり、集積場にさらに細かい目の網を巻いたりすれば、被害の軽減につながります。ネットはガラス避け専用の他、園芸・スポーツ用の物が販売されていますので、自治会等でご用意ください。戸別出しの方についても、ネットをごみ袋の下から包み込むようにかぶせて被害を防いでください。また、生ごみが見えないように指定袋の奥に隠して出すと効果があるそうです。さらに、エサになる生ごみ自体を減らすことや臭いを減らすために水分を十分に切ることも大切です。

庭木を剪定しました。剪定くずはどうしたらいいの？

太さは直径5センチ以内、長さは70センチ以下であれば「燃やすごみ」ですので、指定袋に入れてごみ出してください。なお、太さが直径5センチ以上ある場合には、清掃センターで処理ができませんので、収集はしません。また大量に出る場合には、清掃センターにご確認のうえ自己搬入をお願いします。

スプレー缶の爆発事故ってどんなの？

スプレー缶のガスを抜いていないと、収集車の中で押しつぶしたり清掃センターで処理したりする段階で、破裂し爆発するケースが発生してしまいます。車両火災や施設破損の原因になり、作業員にとりましても大変危険ですので、スプレー缶は使い切ってから必ず穴をあけて、指定袋とは別の袋（透明なビニール袋、レジ袋）に入れて出してください。また、中身が残ったままの使い捨てライターも同様に危険ですので、使い切ってからペンチなどでガスの出口をこわしてガスを抜いてから出してください。作業される場合は、風通しの良い、火の気のない所で行ってください。